

梨建設3第10-8号  
平成20年10月21日

国土交通省道路局長 殿

山 梨 市 長



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

平成20年9月19日付、国道企第37号にて依頼のありましたこのことについて、別添資料のとおり提出いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

(改善すべき点)

地方の道路整備は、マスコミなどの情報とはかけ離れたものがあり、「必要なところに必要なもの」としては、まだまだ立ち遅れているのが実情です。特に、市町村合併に際し、地域間を連絡する道路整備は、合併後の市内地域の一体化や行政活動の効率化に寄与するものであり、早急な整備が望まれています。

これまでの道路行政は、自然に恵まれている地域に設けられる植樹帯や交通量が少なく住宅地がない路線の歩道設置、交通量に対して余裕のありすぎる幅員を設けるなど、地域の実情を勘案しないまま、全国画一的な基準のもと整備されてきたため、さまざまな問題を引き起こしているものであり、道路の必要性自体を否定するものではないと思われます。

今後、少子高齢化社会を向かえるにあたって、公共交通の発達した都心部に比較して、地方の生活基盤はますます道路交通に頼るものとなることが予想されるため、少なくとも従前の整備が継続されるよう期待しているところです。

また、既存ストックが老朽化を迎えることや、地震防災、高齢化社会に向けた対策等の需要も高まるものと予想され、橋梁耐震化やバリアフリー化などの修繕、改修事業に対する補助制度の充実は、財政きびしい地方自治体にとっては、早期に望まれる施策です。

(提案)

- 補助金の嵩上げ等、地方の厳しい財政状況を勘案した補助事業の改定。
- 地方の実情や特性を考慮した道路構造の採択。
- 橋梁長寿命化計画(アセットマネジメント)の点検・調査への補助対象拡大及び計画策定の補助上限枠拡大。
- 安心・安全なまちづくりに繋がる避難路、緊急車両が通行可能な道路整備を支援する補助事業の拡充。
- 地域密着型生活関連道路における、ミニ改良、修繕・補修及び地域との協働事業に対する補助事業の創設(普通交付税とは異なる市民にも見える事業の創設)

協働による道路整備の



○現状

本市は、面積の約8割を森林が占め、南部の平坦地と北部の山岳地域では約2,300mの標高差があります。

南部の平坦地は、中央自動車道や国道20号に近接し、市内を西関東連絡道路、国道140号、国道411号などの幹線道路が通り、甲府盆地の北東の玄関口として市街化が進んでいますが、笛吹川、重川などの河川やJR中央線により地域が分断されていることに加え、高速道路のICや市外へのアクセス性が脆弱で、地域の発展のためには、骨格的な道路網や河川橋梁、JR横断橋の整備が課題です。また、駅等の交通拠点機能の強化や歩道整備など生活に密着した安全・快適な暮らしに繋がる道路整備も進める必要があります。

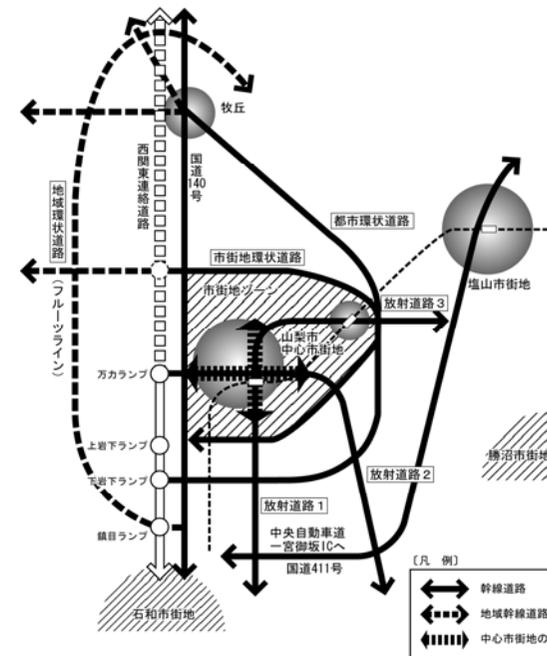
北部の山岳地帯は、山地や溪流により地域分断されており、河川沿いの幹線道路が、唯一地域間を結ぶ交通手段となっています。このため、災害時に山間集落地が孤立することが懸念されることから、防災対策や地域を横断的に結ぶ道路網の整備が課題となっています。また、高齢化が特に進行していることから、効率的、効果的な公共交通の展開も重要な課題です。

○課題

- ①広域的な都市間との連絡を強化する西関東連絡道や中央道勝沼ICや一宮・御坂ICへのアクセス道路の整備
- ②周辺都市との連絡道路や市内環状道路などの主要幹線道路の整備
- ③市街地の骨格を形成し、連絡を強化する、JR立体橋を主要構造とする街路整備
- ④合併した地域間の連絡を強化する道路整備及び、災害時のリダンダンシー的横断道路の整備や市街地の電線類地中化、観光産業の振興に資する道路整備
- ⑤交通結節点の整備
- ⑥地域に密着した生活道路の整備
- ⑦通学路や市街地の歩道整備、バリアフリー化

市街地周辺の骨格道路網の考え方

(山梨市都市計画)



本市は、人口減少、少子高齢化の進展、地球規模での環境問題など、めまぐるしく変化し続ける社会情勢のもと、厳しい財政状況の中で、総合計画で示した将来像である「人・地域・自然が奏かなでる和(なごみ)のまち山梨市」の実現に向け、市民の理解と参画をいただきながら、市民の視点に立った協働によるまちづくりを進めています。

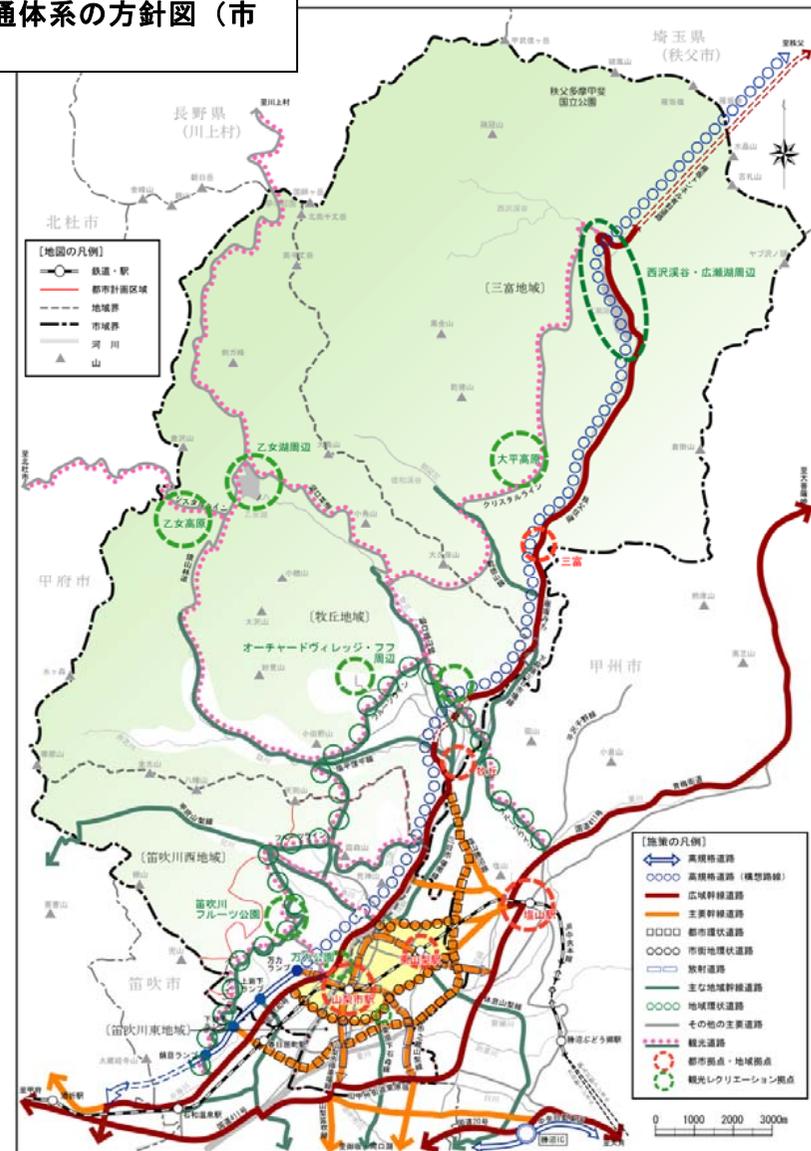
特に、本市のもつ、自然や歴史、文化、伝統産業など、豊富な魅力ある地域資源を、市民の心の拠り所やふるさとへの愛着を育む大切な財産としてまもり、発展させ、地域全体を「野外博物館＝フィールドミュージアム」に見立てた取り組みや、それらを活用した、観光を中心とする産業の活性化、地域振興など、活力あるまちづくりを重点的に推進する必要があります。

これらの取り組みを実現させるためには、道路網の整備を抜きにしては考えられず、まちづくりと連携した道路網の整備を重点的に進めていきます。

笛吹川フルーツ公園



道路・交通体系の方針図（市全体）



③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

本市の目指すべき将来像を実現するためには、地域高規格道路や国道など広域的幹線道路を中心した骨格道路網の強化やまちづくりに通じる市街地幹線道路の整備、市民生活の利便性や安心・快適な暮らしに通じる生活道の整備ほか、駅など主要交通拠点の強化と公共交通の向上を図る必要があります。

平成18年に供用を開始した甲府山梨道路Ⅰ期(国道140号)は、本市の中心地から甲府都市圏まで、交通渋滞で長時間を要していた通行時間を劇的に短縮し、甲府都市圏の住宅地や峡東地域の観光拠点としての本市の位置づけを確立するものでした。今後も、Ⅱ期工事が延伸されることにより、本市の更なる発展に通じるものとして、早期着工が期待されています。

また、都市計画道路根津橋通り線は、甲府山梨道路Ⅰ期(国道140号)のアクセス道路として広域幹線道路網の一翼を担うばかりでなく、本市の玄関口で、交通拠点となっている山梨市駅前の商業を中心とした市街地空間、住居環境を改善する土地区画整理事業と連携し、新しいまちづくりに貢献しています。今後、引き続き延伸整備され、活力あるまちづくり、魅力あるまちづくりに寄与することが期待されています。

しかし、地域の生活関連道路の改良、修繕整備は、市民からの要望が高いにもかかわらず、補助的な支援もないため、財政の厳しい本市では、整備を進めるのは困難状況にあり、今後、財政状況の厳しい地方自治体における生活関連道路の小規模な改良、修繕に対しての支援を検討していただきたいと思えます。

本市では、これまで申し上げたことをもとに、次の具体的な道路施策の提案をいたします。

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
<p>○地域活力の向上</p>	<p>・地域高規格道路の整備 甲府山梨道路Ⅱ期の早期着工                      ・中央自動車勝沼IC、一宮ICへのアクセス道路の整備</p> <div data-bbox="474 1066 952 1118" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                         渋滞の激しい国道140号(現道)                     </div> <div data-bbox="1032 1050 1532 1422" style="text-align: center;">  </div>	<p>・広域幹線交通網の確立、市内交通円滑化、観光を主体とした産業振興</p>	<p>・西関東連絡道路整備促進期成同盟会、山梨・八幡・岩手沿線地域からの要望</p>

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項

○地域活力の向上、  
良好な生活空間の形  
成

○都市交通の快適  
性、利便性の向上

○代表事例

・街路事業根津橋通り線、県道山梨市停車場線等の整  
備促進

根津橋通り線 施



・市道小原東東後屋敷線、落合正徳寺線、市役所前通り線  
JR立体橋の整備

根津橋通り線と山梨市駅前 施



○期待する効果や評価等

・市内交通円滑化、中心市街地の活性化、良好な住  
環境の整備



・まちづくりの重要施策、JR線に分断された地域間連携  
と発展、市民生活の利便性、快適性の向上  
・交通拠点JR東山梨駅との連携による交通利便性の向  
上



○その他

・道路整備を中心とした  
まちづくり、駅南まちづく  
りの会での要望

・南反保まちづくり研究  
会

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項

○地震等災害に強いまちづくり(大規模地震、火災に強い国土づくり)

○代表事例



J R線の立体工事に多大な経費が必要なため、休止状態となっている市役所前通り線と踏切で交通が不便となっている状

①市内地域間を結ぶ国道140号、県道の改良整備、防災対策  
②長大、重要路線の橋梁耐震化  
③市道野背坂線等 市内横断連絡道路の整備  
④重要路線の電線類地中化  
⑤避難路や緊急車両が通行可能な生活道路の整備



災害時の避難路や緊急車両の通行を可能とする道

○期待する効果や評価等



J R線の立体が整備され、スムーズな交通が確保された根津

・安心・安全なまちづくり



耐震化が必要な一級河川日川に架かる新日川橋

○その他

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項

○計画的・効率的な維持管理や更新の推進

○代表事例

①市道橋梁等長寿命化計画(アセットマネジメント)  
②身近な生活道路の維持管理



老朽化が進み、改築、修繕が必要

○期待する効果や評価等

- ・安心・安全なまちづくり
- ・市民生活の利便性、快適性の向上、魅力あるまちづくり



生活関連道路の安全確保は重要な

○その他